

2019年度（令和元年度）
国際機関幹部候補職員選考試験
（国連開発計画（UNDP））

2019年11月27日
外務省 国際機関人事センター

外務省では、これまで若手の日本人を対象に、国連をはじめとする国際機関ヘジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）を派遣してきましたが、2017年度から35歳を越える方でも国際機関に派遣できるように新たな取組を開始しました。この新たな取組では、国際機関での経験と実績を積み、将来は幹部職員を目指す人材を求めています。

このような取組の一環として、今般、国連開発計画（UNDP）について、以下のポストを対象に募集を行うことになりました。このポストの概要（JOB DESCRIPTION）、応募方法などは、[募集要項](#)をご覧ください。応募締切は2019年12月17日（火）23時59分（日本時間）、募集人数は1名です。

このポストは、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた支援強化を念頭にUNDPが創設した専門家育成プログラム（Specialist Development Programme（SDP））によるポストです。応募には年齢制限があります（2019年12月31日現在で38歳以下）ので、ご注意ください。

応募は、電子媒体（電子メールアドレス：kokusaikikan@mofa.go.jp）でのみ受け付けます。

SDGs や「開発と人道の連携」に関する業務、特に、こうした分野における政府や民間企業・団体、大学等との連携業務に携わった経験があり、日本の政府開発援助（ODA）についての優れた知見も有する多くの優秀な日本人の方の応募をお待ちします。

【募集対象ポスト】

- 国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所（所在地：東京）
Partnership and Resource Mobilization Specialist, (P3)